

= 11月 =

NO. 286



広報

あくわ

毎月一回 10日発行 1部10円

昭和45年11月10日

編集と発行 市長公室企画広報係

昭和43年8月20日 第3種郵便物認可

天
高
く

「ふなつりし かの川」

どこまでも澄み切った青空の下、砂いぢり、ジヤングルジムに興じる姿は、なんのてらいもなく、かけりもない。天真であり、らん漫である。

「兎追いし あの山

(保育園で)



農業・道路問題など幅広い質問

阿久根市で
一日県庁

七百五十人が参加



あらゆる問題が熱心に討議された

だくごうのが県の気持
です。みなさまとの間に
意見交換をもち今後県政
によりよく生かしていく
たい。

では、つぎの順序で会
を進めていきたいと思
います。

①発展基盤の問題

②運営問題

③社会教育問題の三つの
部間にわけ意見を出して
いた

だき、衆側からこれに答える
という方法でやりたいと思
います。

発言者(市議会代表磯畑敏治)
市内における県道の整備ならび
に舗装の実績

(口)黒川潤
早開発

県道整備ならびに町尾幹線林道の完
成後における阿久根市経済のみと
おしについて

土木部長、阿久根市においては
主要地方道それから地方道の舗装
率は県下平均より低い、地域別に
あるいは都市別にその舗装の平均
化はやつて い。

で聞かれ、県から金丸知事をはじめ、各部長
人が参加。金丸知事が県政施策を述べたあと
河川、港湾の改修、離農対策など幅広い質問
で質問されたかたがたはつぎのとおりです。
水千秋・(水産関係代表)新町茂・(商工関
係に關係分だけをお知らせします。



県道改良工事も急ピッチで進められ
ている



の実施促進

(口)農地流動就業適正

長島、阿久根、鹿児島、指宿とい
う、第一次県政計画目標達成につ
とめたいと思います。
今日の交通事情からみて、舗装
は当面の急務であり、人家連たん
区間においてはそろ急に舗装をす
る予定です。

必要な箇所を集中的にやってい
るので、一つの市をとります。防じんはそうをし、から約束でな
とバランスのくずれたところがあ
く実現できると思います。

公算債についても今後県独自の
度におきまして

四十四年度を初年度として、第
一次県政発展計画にもとづいた道
路整備の目標としては、四十八年
度におきまして

四十八年度目標改良率はこう率
主要地方道八六・一八七・六%
一般地方道四四・三二・二%

このへんに目標を定めてやつて
います。

阿久根市内の主要地方道につい
て国庫補助事業として、県単事業
を含め約一億円の事業を施行中で
あります。しかし、まだ未整備道が大
きな観光地つまり、鹿児島、熊本を
中心としたところを考えたものが
現実的であろうと思います。

ソシアルツーリズム、つまり家
族的な小団体旅行地に持つてい
地域の特産を生かしたもの、海水
浴場、キャンプ場、水上ゆうらん
などを生かすのがきわめて現実的
であろうと考えます。

林務部長、紫尾幹線林道は北
薩森林地帯の道路網の空白地帯に
開設するもので、林業振興はもちろ
ん、観光あるいはそれに関連
する産業の振興に役立つもので、
国道三号線の阿久根一川内境あた
りから東へ向かい、九州では一番
はじめての林道であり、こんどじ
ゅうぶん検討したい。

米の生産調整三年間は存続

離農対策に積極的に取りくむ

発言者(農業園芸代表早水千
秋)

化対策の推進

県知事、全農知事会においても
米の生産調整については、現在の
制度を少なくとも三年間は続ける
べきであるという基本的な線をく
ずしておりません。

離農促進については、昨年から
離農対策をやっています。予算
にも昨年から組んでいますが、農
政部で非常に心配しまして、離農
対策を表面に出しますと、非常に

=丹宗市長・山中総務長官と対談=

「天才はつくるものでなく生まれるものである」とすれば、前歴は略歴である。現在ほど婦女子教育の必要を痛感する時代はない。さてやがて婦女子教育の再認識をめざす山中総務長官に面談する丹宗市長



總理府山中総務長官室で



園田直前厚生大臣に「公害問題」を進言する丹宗市長

早めに納めましょう。

第三期分の納期です

今月は「固定資税」

商業調整規則により県の許可がなければ採捕できないことにもなっています。これにともない当市でも最近無秩序な漁獲や密漁者が増加しつつあり、これらを防止するため結成されたものです。

なお、これらのことについてお聞きになりたい場合は、市商工水産課に問い合わせください。

河川敷地に汚物を投棄することが禁止されました。

河川は洪水などの流水をスムーズに流し、また、市民生活にもとも大事な水道用水や下水用水などの水質資源を供給する役目を果しています。

おいや身に入る公共施設です。
いま問題になっている公害防止の見地からも禁止されたものです。

こんなことがいけません

○違反者は五万円以下の罰金に処せられます。

●河川を損傷したり、区画内に土石、ごみ、ふん尿、鳥糞の死体、また、河川は流水と堤防などからなる敷地と空間を提供し、わたくしたちのすきみがちな日常にう

以下の罰金に処せられます。

●このほか、舟が航行するようなら、河川で必要と認めた場合は建設大臣の定めるところにより、別途航行方法などにより制限することがあります。住みよいまちづくりのうえ

●松川をはじめなどこれがめだつていて、川に運搬するときには、河川管

理者の許可が必要です。

○違反者は五万円以下の罰金に処せられます。

河川敷地に汚物を投棄することが禁止されました。

河川敷地に汚物を投棄したこと

が禁じられています。

●このように、河川法の改正にと

らない、いろいろ取り繕りがきびしくなりました。市内の河川も高

松川をはじめなどこれがめだつていて、川に運搬するときには、河川管

理者の許可が必要です。

きれいな川を守るために

◆河川に一日当たり五十立方㍍の汚物を排出する者は、あらかじめ河川管理者（建設大臣または県知事）に届け出をしなければなりません。

これらのことはみなさまの全面的協力がないと効果は期待できません。河川の美化についてはひ

く観光水産や自然保護の目的で放流されたものです。

●高松川漁業協同組合では、高松川に稚コイを放りこむと罰則を適用されず。ので詳しいことは県河川課あるいは土木事務所にお問い合わせください。

●稚コイを放りこむと罰則を適用されず。の詳しいことは県河川課あるいは土木事務所にお問い合わせください。

高松川に「コイ」を放流



グループ全員が集まり図書をとおして全体討議。5戸グループででた問題点など年間2~3回開催し、技術の向上をはかっている。



研究の成果があり、たわわに実ったミカン、個もはころび、ミカンを摘む手も軽い。

カメラ・ルート

~ 読書を通してミカンづくり ~

市内園田部落に読書グループがある。これは59年ごろから近所隣りの農家のたがたがたこち戸1組のグループをつくり、親子夫婦全員が読書に励んでいる。先進地で進められている技術導入など読書を通してミカン栽培に取り入れ、新しい技術を経営面に生かしている。月刊の「カンキツ」の雑誌を始め、図書館から毎月20冊以上的一般図書や半年ごとに交換する農業文庫"冊"を全戸で熟読している。いまでは30戸のミカン園地をつくり、技術革新につとめている。



病虫害、肥料効果など専門書を片手に、ミサン園で熱心な検討が続く。



出荷時はミカンの山。あますっぽい香りがあたり一面ただよい農協に一元出荷される。わたくしたちの食後を楽しませてくれる。

グローブ
ミット
を月産一万五千個を製造

国道三号線ぞいの国鉄牛之浜駅、
こ西目大川島境いの、東シナ海を
眼下に見おろす小高い丘に、虎田
スポーツ工場K、K（工場長奥平
節雄）がある。

この工場は、昨年十二月操業を開始しようと一年になります。敷地は四千九百五十平方㍍九十人の社員が仕事を助けています。

ここでは、グローブ、ミットなど月産一万五千個を製造しております。販売は五十箇がアメリカに輸出、との五十箇が国内需要を

機械設備は裁断機五台のほか、特殊ミシン五十台、その他は付属機械三十台で、裁断、縫製、型式ひもとおし、仕上げ上、手ぎわよく生産されています。



「今後は、生け花などをもつ入れて幅広い活動を行ない、会社としても協力、共同意識、チームワークをつくりに最適と積極的に支援」しています。

十八四平方㍍の工場二棟が完成し
ミット専用工場を初め、食堂、更
衣室など社員の福祉施設が完成す
ることになります。

近く工場虹張も進み、

場敷地に構築することに、百五十八四平方㍍の工場二棟が完成しミット専用工場を初め、食堂、更衣室など社員の福祉施設が完成することになります。

図書館に善意の贈りもの

昭和八年阿小卒業生

昭和八年三月、阿久根小学校尋常科卒業生がこのほど、県教育長を訪ね、市立図書館に図書購入の一部に活用してくださいと、五千円を寄贈しました。

教育長は、「心に火をたく駄本運動」を進めているときでもあり善意にこたえ、さっそく図書を購入し図書館に贈りました。

これは、恒例の阿小運動会で五十歳組競走があつたため県内はもとより、北九州地方、京阪神地方厚生省児童家庭局長の坂元貞一郎氏など京阪神地方から、九十七名のかたが集まり、恩師の浜崎澄子、堀切千代、有馬常行、上村イツ、本田親虎の諸先生の前で、三十七年前の童心にかえって、リレーに興じました。

ここに、ご一同の善意を紹介し敬意を表します。



図書館に善意の贈りもの
昭和八年阿小卒業生

昭和八年三月、阿久根小学校尋常科卒業生がこのほど、黒崎教育長を訪ね、市立図書館に図書購入の一助に活用してくださいと、五千円を寄贈しました。

教育長は、「心に火をたく蘇木運動」を進めていたときでもあり善姫にこたえ、さっそく図書を購入し図書館に贈りました。

これは、恒例の阿小瀬勧会で五十歳組競走があったため県内はもとより、北九州地方、京阪神地方厚生省児童家庭局長の坂元貞一郎氏など京浜地方から、九十七名のかたが集まり、恩師の浜崎燐子、堀切千代、有馬常行、上村イツ、本田親虎の諸先生の前で、三十七年前の童心にかえって、リレーに興じました。

ここに、ご一同の善意を紹介し敬意を表します

操業を開始し、一
年、かず少ない説教企
業の中にあって、市
場にきよし、こ
れからが業しむな
工場です。

うことで、社員募集集のときなど借用してもらえる。これからも進出企業には、その土地から必ず「人は経営にタタチする人がいた方がいいのではないか」と企業と地域を結ぶ、小さな。を強調され

A black and white photograph capturing a scene in a workshop or factory. Several workers are seated at long, narrow wooden tables, their attention directed downwards as they perform a task. The environment appears cluttered with various tools, equipment, and materials, suggesting a busy industrial or craft setting. The lighting is somewhat dim, creating strong shadows and highlights that emphasize the workers and their workstations.